

チーム名 Do the right thing

電力不要で自律浮沈する水浄化粒子を用いた陸上養殖事業への用途展開

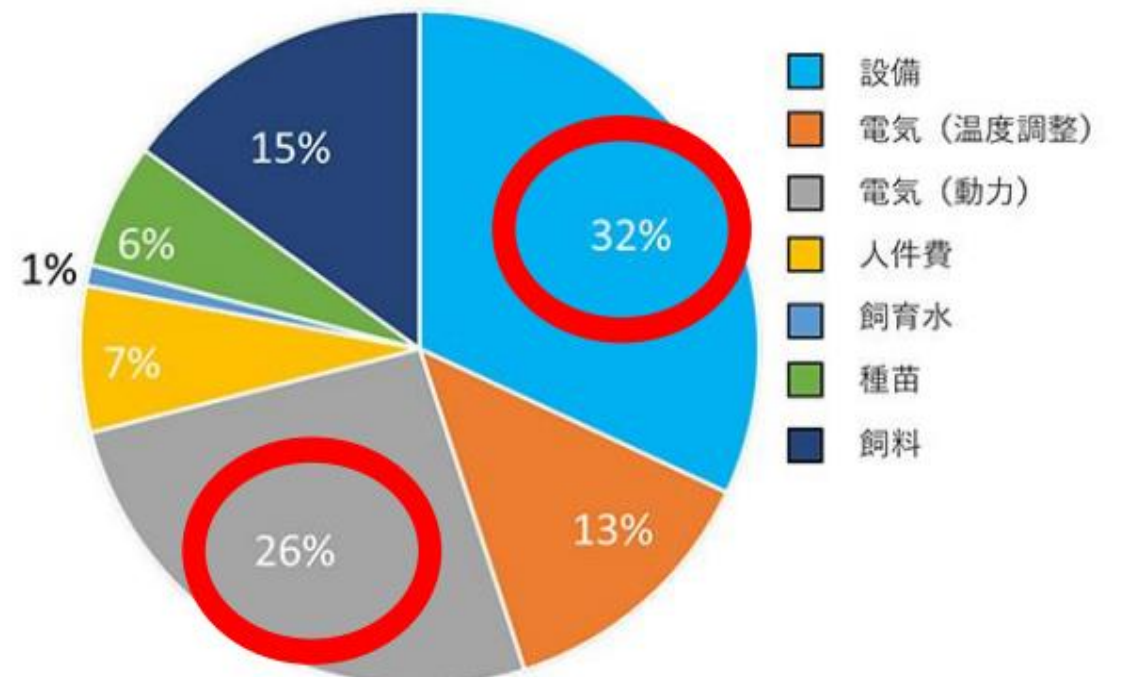
陸上養殖魚の事業コスト全体の約1/2は**設備**と**電気**コストが占めており、それらの原価低減が不可欠なビジネス領域だ。陸上養殖水の循環システムを簡略化することが高収益化のカギとなる。



陸上養殖の水循環システム例

ニュースイッチ 2022年8月22日 電子版

事業コスト内訳

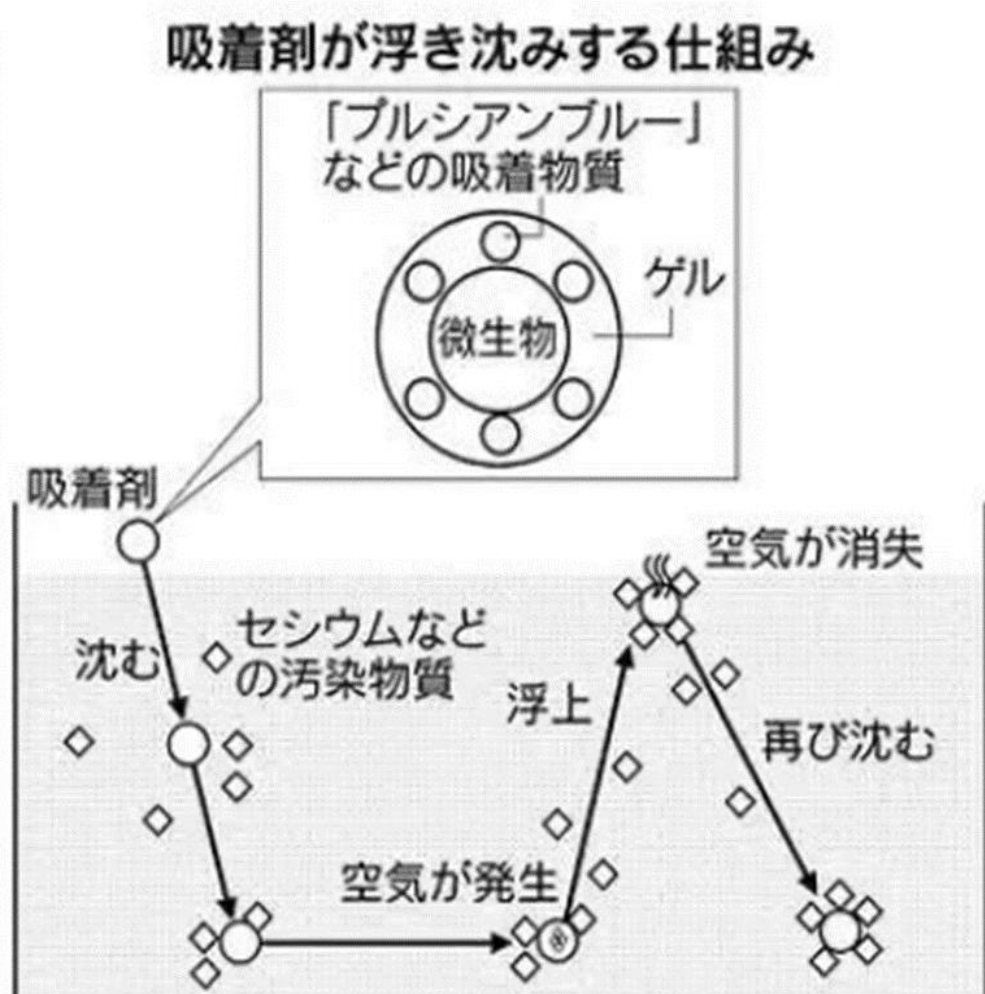


水産庁 陸上養殖企業資料データより

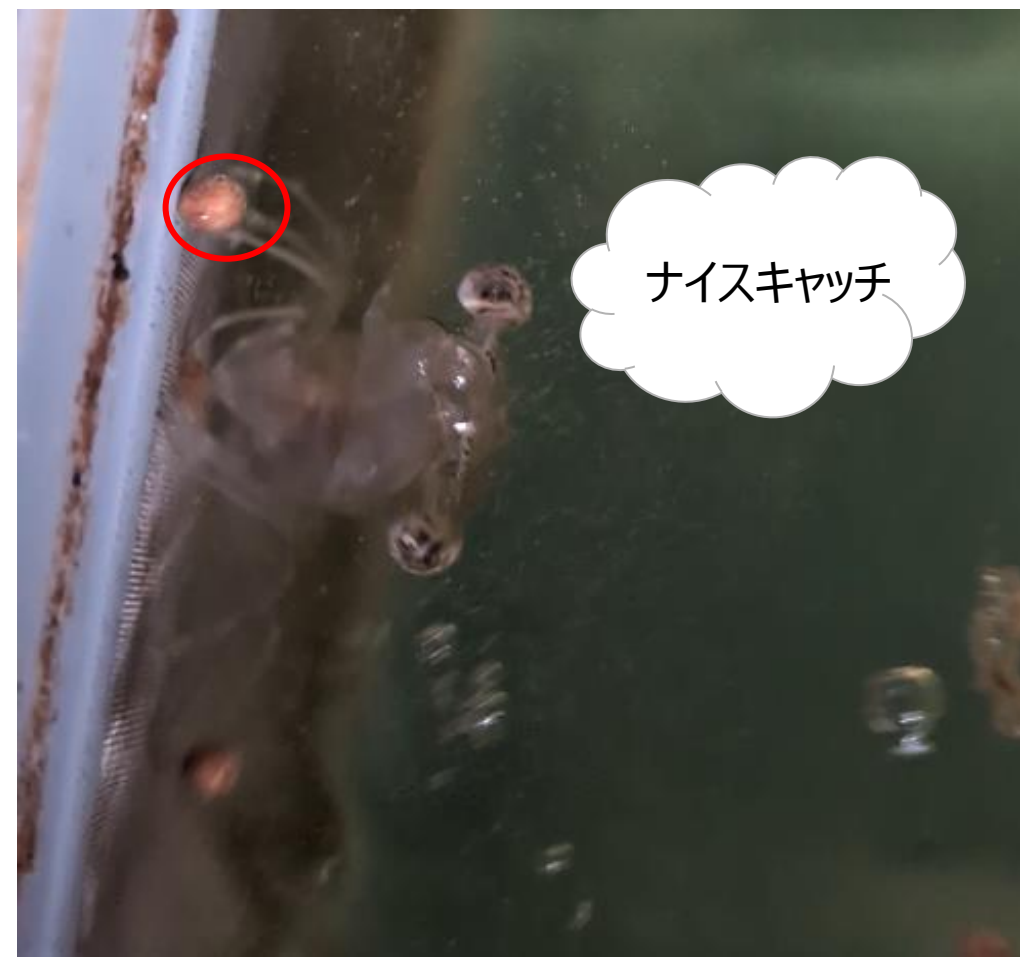
提供技術：養殖用餌の開発

「微生物発酵等を起動エネルギーとして水中で浮沈を繰り返すゲル技術」を**浮沈する餌**として陸上養殖水槽内の水浄化にも役立てたい。

- 特長：(1) 微生物の発酵等を動力とし、電力を必要としない。
(2) 特別な設備を必要としない
(3) 食べ残しによる水質悪化を減らす可能性（水面で回収できる）



日本経済新聞 2020年2月4日 電子版



エビにとっては生きた餌に見える（かも）

低コストでの生産が可能で競争優位を持っています。
本技術を陸上養殖事業に用途展開する事で、陸上養殖事業を手軽に実現できる世界の創出を目指します。

連絡先：柴田 亮（makoto1909@hotmail.com）